

【学びの履歴】各教科

特別支援学校小学部・中学部学習指導要領(H29) P168～172参照		
中学部【美術】 目標		
表現及び鑑賞の活動を通して、造形的な見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の美術や美術文化と豊かに関わる資質・能力を次のとおり育成することを目指す。		
知識及び技能	思考力・判断力・表現力等	学びに向かう力・人間性等
(1) 造形的な視点について理解し、表したいことに合わせて材料や用具を使い、表し方を工夫する技能を身に付けるようにする。	(2) 造形的なよさや面白さ、美しさ、表したいことや表し方などについて考え、経験したことや材料などを基に、発想し構想するとともに、造形や作品などを鑑賞し、自分の見方や感じ方を深めることができるようにする。	(3) 創造活動の喜びを味わい、美術を愛好する心情を育み、感性を豊かにし、心豊かな生活を営む態度を養い、豊かな情操を培う。
【1段階】		
知識及び技能	思考力・判断力・表現力等	学びに向かう力・人間性等
ア 造形的な視点について気付き、材料や用具の扱い方に親しむとともに、表し方を工夫する技能を身に付けるようにする。	イ 造形的なよさや面白さ、表したいことや表し方などについて考え、経験したことや思ったこと、材料などを基に、発想し構想するとともに、身近にある造形や作品などから、自分の見方や感じ方を広げることができるようにする。	ウ 楽しく美術の活動に取り組み、創造活動の喜びを味わい、美術を愛好する心情を培い、心豊かな生活を営む態度を養う。
【2段階】		
知識及び技能	思考力・判断力・表現力等	学びに向かう力・人間性等
ア 造形的な視点について理解し、材料や用具の扱いなどを身に付けるとともに、多様な表し方を工夫する技能を身に付けるようにする。	イ 造形的なよさや面白さ、美しさ、表したいことや表し方などについて考え、経験したことや想像したこと、材料などを基に、発想し構想するとともに、自分たちの作品や美術作品などに親しみ自分の見方や感じ方を深めることができるようにする。	ウ 主体的に美術の活動に取り組み、創造活動の喜びを味わい、美術を愛好する心情を高め、心豊かな生活を営む態度を養う。

■ 特別支援学校小学部・中学部学習指導要領(H29)に示される各教科の「目標」に照らして、その「内容」の習得状況を記入する。

○:学習した内容 ◎:学習した内容をおおむね習得している

- * まだ学習していない内容については、空欄にする。
- * 中学部2段階の内容を習得し、目標を達成して小・中学校学習指導要領の内容を発展的に取り扱っている場合は、別紙様式に記入する。
- * 中学部の段階の指導が難しい場合は、小学部の目標や内容を参考にする。しかしながら、教科の名称までを替えることはできないことに留意する。

【学びの履歴】各教科

特別支援学校小学部・中学部学習指導要領(H29) P168～172参照

中学部【美術】 1段階

目標

知識及び技能	思考力・判断力・表現力等	学びに向かう力・人間性等
ア 造形的な視点について気付き、材料や用具の扱い方に親しむとともに、表し方を工夫する技能を身に付けるようにする。	イ 造形的なよさや面白さ、表したいことや表し方などについて考え、経験したことや思ったこと、材料などを基に、発想し構想するとともに、身近にある造形や作品などから、自分の見方や感じ方を広げることができるようにする。	ウ 楽しく美術の活動に取り組み、創造活動の喜びを味わい、美術を愛好する心情を培い、心豊かな生活を営む態度を養う。

内容

	1学年	2学年	3学年
A 表現 ア 日常生活の中で経験したことや思ったこと、材料などを基に、表したいことや表し方を考えて、描いたり、つくったり、それらを飾ったりする活動 (ア) 経験したことや思ったこと、材料などを基に、表したいことや表し方を考えて、発想や構想をすること。 (イ) 材料や用具の扱いに親しみ、表したいことに合わせて、表し方を工夫し、材料や用具を選んで使い表すこと。			
B 鑑賞 ア 自分たちの作品や身近な造形品の鑑賞の活動 (ア) 自分たちの作品や身近な造形品の制作の過程などの鑑賞を通して、よさや面白さに気付き、自分の見方や感じ方を広げること。 (イ) 表し方や材料による印象の違いなどに気付き、自分の見方や感じ方を広げること。			
【共通事項】 ア 「A表現」及び「B鑑賞」 (ア) 形や色彩、材料や光などの特徴について知ること。 (イ) 造形的な特徴などからイメージをもつこと。			

中学部【美術】 2段階

目標

知識及び技能	思考力・判断力・表現力等	学びに向かう力・人間性等
ア 造形的な視点について理解し、材料や用具の扱い方などを身に付けるとともに、多様な表し方を工夫する技能を身に付けるようにする。	イ 造形的なよさや面白さ、美しさ、表したいことや表し方などについて考え、経験したことや想像したこと、材料などを基に、発想し構想するとともに、自分たちの作品や美術作品などに親しみ自分の見方や感じ方を深めることができるようにする。	ウ 主体的に美術の活動に取り組み、創造活動の喜びを味わい、美術を愛好する心情を高め、心豊かな生活を営む態度を養う。

内容

	1学年	2学年	3学年
A 表現 ア 経験したことや想像したこと、材料などを基に、表したいことや表し方を考えて、描いたり、つくったり、それらを飾ったりする活動 (ア) 経験したことや想像したこと、材料などを基に、表したいことや表し方を考えて、発想や構想をすること。 (イ) 材料や用具の扱い方を身に付け、表したいことに合わせて、材料や用具の特徴を生かしたり、それらを組み合わせたりして計画的に表すこと。			
B 鑑賞 ア 自分たちの作品や美術作品などの鑑賞の活動 (ア) 自分たちの作品や美術作品などを鑑賞して、よさや面白さ、美しさを感じ取り、自分の見方や感じ方を深めること。 (イ) 表し方や材料による特徴の違いなどを捉え、自分の見方や感じ方を深めること。			
【共通事項】 ア 「A表現」及び「B鑑賞」 (ア) 形や色彩、材料や光などの特徴について理解すること。 (イ) 造形的な特徴などからイメージを捉えること。			